

# コロナウィルス感染症対策ガイドラインに則した本大会の運営について

## 1. 試合会場入場に関して

- 大会出場選手、監督、マネージャー、外部コーチ以外は、試合会場への立ち入りは、ご遠慮いただきます。
- 参加中学生用健康確認書、引率者用健康確認書を入場時回収します。提出のない者の試合会場の立ち入りは例外なくお断りします。
- 発熱者と健康状態の確認できない者は会場に入場できませんので、健康確認書を忘れてきた場合は、提出するまでは試合に出場できません。
- 引率者は、当日参加同意書を参加者分持参し、必要があれば提示できるようにしておいてください。参加同意書のない選手は試合に出場できません。

## 2. 試合会場入場後の動きについて

- ① 入場したら、すぐ手を洗ってください。すぐしあいのあるコートに向かってください。
- ② 試合以外では、必ずマスクをしてください。
- ③ 着替えは更衣室を利用してください。更衣室の長時間の利用は避けてください。
- ④ 私物は、外靴を含めてバッグひとつに入れられる状況にして、常に携帯してください。
- ⑤ 開・閉会式、表彰式は、参加者が密になる状態を避けるため、行いません。引率者から当日の注意を確認してください。
- ⑥ 来校者全員が係生徒、審判要員でもあります。審判（主審・線審）、得点表示係など、原則、トーナメントのグループで協力しながら行います。学校に関係なく協力してください。4. 競技について【選手および試合】【審判】【観戦・待機等】を確実に確認し、試合に臨んでください。
- ⑦ 試合、審判等のない者は、自分の試合をするコート周りにいてください。
- ⑧ 自身の試合・役割（敗者審判等）が終了しても、係生徒、審判要員として協力してください。

## 3. その他の留意事項

- ① ドア及び窓を常時開放し、換気を行いながら競技を進行します。
- ② シャトルコックは、飛行に影響が出る可能性があるため、消毒等を行いません。こまめに交換をすることや、試合前後の手洗いなどで対応してください。**試合前後の手洗いを励行してください。**
- ③ 主審のかごや得点板、線審のイス、得点板、モップ等、試合で使用する備品類のこまめな消毒など衛生対応しますが、**使用後は手指消毒を心掛けてください。**
- ④ 洗面所（トイレ）は感染リスクが比較的高いと考えられます。手洗い場の石鹸、ペーパータオル、手指消毒液をある程度準備はしますが、各校での準備もお願いします。
- ⑤ ゴミは全て持ち帰り自宅で処分してください。

## 4. 競技について

### (1) 選手および試合

- ① 選手同士や審判員との握手は行いません。
- ② ウォーミングアップはできるだけ距離をあけて行ってください。
- ③ コートへの入退場は、指定された時間に、速やかにコートに集合します。
- ④ コートサイドにはかごやドリンクケースは設置しないので、バッグ等を持参し、コートサイドの所定の場所に置き、ドリンクも各自のバッグに収容してください。
- ⑤ ラケット・タオル等の用具の貸借はしてはいけません。
- ⑥ 床の汗拭きは、モップもしくは所定の用具を使用してください。
- ⑦ シューズの裏を手で拭かないでください。
- ⑧ 意識的に試合中の声出しはしないでください。
- ⑨ プレーヤー同士やコーチとハイタッチ等の接触を行わないでください。
- ⑩ コーチングは一定の距離を保ち、必要最小限に短時間で行ってください。ベンチからのインプレーでないときのアドバイスについても、常識の音量の範囲内で、最小限にとどめてください。

### (2) 審判

- ① 主審、サービスジャッジ、線審、得点係等は、マスクを着用してください。
- ② トスは、フィジカルディスタンスを確保して行います。トス時、選手と審判間のあいさつや試合前後の握手は行いません。
- ③ コールは、必要最小限とします。「プレイ」「フォルト」「レット」「ゲーム」等のみで行います。
- ④ 線審は、指定の合図を行い、コールをしなくてもよいですが、マスクをしているので、常識の音量の範囲であればコールしても構いません。
- ⑤ 得点板を使いますので、主審はポイントをコールしなくてもよいですが、マスクをしているので、常識の音量の範囲であればコールしても構いません。
- ⑥ 線審席・コーチ席・得点板等を定期的に消毒しますが、**試合前後、主審、線審後の手洗い、手指消毒を励行してください。**
- ⑦ シャトルの交換は、主審の許可を得て、選手がシャトルをコート備え付けの筒から直接取り出し、使用済みシャトルは、選手が回収ボックスに入れてください。

### (3) 観戦・待機等

- ① 観戦するときはマスクを常時着用し、コート周り、ギャラリーから観戦すること。
- ② 観戦中の応援は、声を出さず、拍手のみで行う。

# 競技上・審判上の注意

本大会は、現行の（公財）日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程並びに公認審判員規定に則って行います。

また、新型コロナウイルス感染防止のため、別紙「**コロナウィルス感染症対策ガイドラインに則した本大会の運営について**」を遵守して行います。

## 1. ID カードについて

ベンチおよびコーチ席に入る際は、監督（赤）・マネージャー（黄）・外部コーチ（緑）を必ず首から下げて下さい。

ID カードは受付で監督・コーチ・マネージャーに配布します。帰る際は本部席まで返却をお願いします。

## 2. 服装について

### (1) 監督・コーチ・マネージャー

公認審判員規定第3条第5項(6)②に定められているとおりの服装で試合に臨んでください。

ふさわしくない服装でベンチやコーチ席に入っていた場合は、着替えや退場をお願いする場合があります。

### (2) 選手

（公財）日本バドミントン協会の検定合格品であるユニフォーム、アンダーギアを着用してください。背面には学校名と選手名が明記されたゼッケンをつけてください。マッチをする際は、シャツをパンツまたはスカートの中に必ずしまっただけでプレーしてください。

ユニフォーム（上下）から著しくはみ出すようなアンダーギアの着用は認めません。

## 3. ベンチについて

(1) 個人戦 ID カードを身に付けた監督・マネージャー・外部コーチの中から1名

(2) 選手がエンドを替える時はベンチも一緒に交代して下さい。

(3) サイドコーチができるのは一度に2名までです。

## 4. 試合前の練習について

(1) 選手はすぐに試合ができる服装（ユニフォーム・ゼッケン）でコートには行ってください。

(2) 初回戦前に5分練習時間を設けます。練習相手は練習相手はシングルスは対戦相手、ダブルスはパートナーにかざります。

2回戦目以降は審判の準備ができるまで習は黙認します。

## 5. 審判について

(1) 本大会は、主審は原則敗者審判で、線審、得点係は原則、トーナメントのグループで協力しながら行います。学校に関係なく協力してください。本部で割り当てることもありますので、その場合も協力してください。

(2) 線審席は対角線に設置します。

(3) 困った場合や疑問な点・不明な点が出た場合は、勝手に判断せずレフェリーを呼び、指示を仰いでください。

## 6. （公財）日本バドミントン協会競技規則 第16条について

(1) プレーの継続、不品行や不愉快な振る舞いに対して厳正に対処します。

<第7項の履行（1 警告）→（2 フォルト）→（3 限界を超えた場合は失格）>

(2) 2項により、すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが11点になった時、60秒を超えないインターバルと、

第1ゲームと第2ゲームの間・第2ゲームと第3ゲームの間に、120秒を超えないインターバルを認めます。インターバルの終了20秒前にはコートに入ってください。

(3) 試合中の水分補給は認めますが、そのためだけのタイムの要求は禁止です。汗拭きなどを許可された時等に速やかに行ってください。

## 7. 試合間のインターバルについて

(1) 各種目とも、試合が連続する場合は、最低10分間のインターバルをとります。

## 8. 試合中のサイドコーチ（助言）について

(1) インターバル時（各ゲーム間）一度に2名まで（監督・コーチ・マネージャー・他選手を含む）が選手のいるエンドに行くことができ、サイドコーチを認めます。ただし、選手をベンチに呼んだり、線審等をしている者がサイドコーチをすることはできません。

(2) 試合中、選手・コーチ・チーム関係者は、iPad・携帯電話等のモバイル機器を使用してアドバイスやサイドコーチをすることは認めません。

(3) インプレー（ラリー中）以外ゲームの遅延や相手の選手等を批判するような内容にならないようにして下さい。各選手は、サイドコーチに対しても速やかに次のプレーに入るようにして下さい。

## 9. コートサイドのかごについて

(1) コートサイドにはかごやドリンクケースは設置しないので、バッグ等を持参し、コートサイド所定の場所に置き、ドリンクもスクイズボトルなど、倒れてもこぼれない容器で各自のバッグに収容してください。

(2) 交換用のラケットは必ず用意してください。ガットが切れた状態のラケットで試合をすることは認められません。

また、ラケットを取りにコートを離れることも認められません。

## 10. 進行について

(1) 状況に応じてコートや競技開始時間を変更することがあります。

(2) コールされてから5分以内にコートに入らない場合は棄権と見なすことがあります。試合のコールを注意して聞いて下さい。